

今こそ学ぼう 山宣「武器なき斗い」



山宣ひとり孤翼を守る
だが私は淋しくない
背後には大衆が支持してゐるから

人生は短く科学は長し

(山宣座右の銘)

県本部では一昨年二月に小林多喜二、昨年二月に鶴彬を取り上げた映画の上映会をして治安維持法とその犠牲者について学習を深めてきました。今年は2月23日(金) 山本宣治の「武器なき斗い」の上映学習会を企画しています。

戦争撲滅のため奮闘せよ



▼発行所
治安維持法要求同盟
〒113-0034東京都文京区
湯島2-4-2全労連会館
国賠同盟岩手県本部
〒020-0013盛岡市愛宕町
17-4 牛山靖夫
T/F 019-623-8648

▼歴史に学び活動を広げる年に 北上支部長 柏葉明
▼自衛隊への名簿提供は問題 北上市 菊地靖
▼能登半島地震、鶴彬の会にカンパを
▼この人にこの歌あり⑨織田秀雄歌

花を植えて、世の中を美しく

「不屈」では山宣没後90年／生誕130年の2019年に山宣を偲ぶ「反戦平和を貫いた生涯」として3・4・5月号に連載し、8月号では「山宣を暗殺した黒田保久」と黒幕の大久保留次郎とは」と取り上げています。再度読み返すとともに『山本宣治一人が輝くとき』本庄豊著(学習の友社)、「民衆とともに歩んだ山本宣治」宇治山宣会著(かもがわ出版)、『山本宣治－反戦平和を貫いた生涯－東京山宣会編、小説『山宣』西口克己(新日本出版社)』映画『武器なき斗い』の原作とも読みました。山宣のことをあまりよく知らなかつたという人に向け、山宣の生涯と思想と活動についてたどりました。

1889(M22)年5月28日京都に誕生、クリスチヤンだった両親は宣教師の「宣」と明治の「治」をとつて「宣治」と名付けました。病弱

国会請願は5月15日

1筆でも多くの署名を国会に届けましょう。戦争責任をあいまいにし裏金作りに励んだ自民党が進める戦争する国づくりは絶対許すわけにはいきません。

「再び戦争と暗黒政治を許すな」を掲げる国賠同盟の出番です。

4月末まで、1筆でも2筆でも是非届けてください。



だつたため、療養のために両親が用意した宇治の後年「花やしき」と呼ばれるようになつた別荘で育ちます。『花を植えて、少しでも世の中を美しくしたい』と園芸士をめざします。一度は挫折しますが、1906(M39)年東京の大限重信邸に園芸見習いとして入るチャンスを得、大限のはからいで夜は正則英語学校で勉強もします。そして堺利彦が発行した『社会主義研究』創刊号に掲載された『共産党宣言』を読み社会主義の理論や社会主義運動に接しています。また、ダーウィンの『種の起源』を購入し進化論も勉強していました。

2 カナダで民主主義の息吹にふれる

17歳10ヶ月となつた山宣は、両親の反対を押し切り親戚の声がけでカナダにわたります。1907(M40)年のことです。帰国する1911(M44)年11月までの5年数か月、山宣は生活費を稼ぐために、家事手伝い、園芸見習い、新聞配達員、農場の開墾、鮭捕り漁夫、皿洗い、缶詰工など20余種の仕事について苦労を重ねます。低賃金で働き、ストライキ破りもする日本人は評判が悪く、日本人排斥運動が高まつていました。労働に明け暮れる毎日を思い直し、20歳になつていましたが17歳と偽り、公立小学校の最上級クラス(日本の中学校に相当)で勉強を開始します。日本に戻れば徴兵年齢となつてきました。公立小学校は、移民にも開放され、授業料は無料で、教科書はレンタル、鉛筆やノートは無料支給でした。

ハイスクールへ進学した山宣は、男女同権、徹底した自由主義、人権・貧富の差による差別を否定する民主的な教育を体験します。更にはダーウィンの「進化論」などを読み、園芸志望から生物学者を志すようになります。これらの『カナダ体験』



が、後年、天皇絶対の專制支配の下で、屈することなく闘いつづける知恵と勇気を育み、「大逆事件」をはじめとする日本の思想弾圧事件を批判するところまで思想的に成長しました。

3 「生きた生物学」をめざす

日本に戻った山宣は生物学者をめざします。

1912(M45)年 同志社普通学校4年編入

1914(T3)年 丸山千代と結婚 第3高等学校入学

長男栄治誕生

1916(T5)年 次男光治誕生

1917(T6)年 3高卒業 東京帝国大学動物学科入学

1918(T8)年 3男繁治誕生

1920(T9)年 東京帝国大学卒業 京都大学大学院

(医学部) 在籍 イモリの精子発達の研究 同志社大学予科講師「人生生物学」講義

日本初の性教育は同志社大学内外で強い反対論にありますが、学生たちの反応は大変良好でした。

1921(T10) 京大医学部講師 長女治子誕生

1922(T11) 同 理学部講師(同志社大学講師兼職)

山宣が社会に広めたいと考えていたことは、それまでの生物学のような分類学や形態学のような「死んだ生物学」ではなく、遺伝学、発生学、生態学、進化論などの成果を取り入れた、生きた「新しい生物学」です。当時「貧乏人の子沢山、生活難、結婚難」などに苦しんでいた労働者、農民らにとって、必要かつ生きた生物学でした。

山宣のこうした「生きた生物学」の行き着く先が、戦争のない社会、人間が人間らしく

生きられる自由な社会を建設することにつながっていました。

4 長女治子の誕生と優生学、産児制限運動

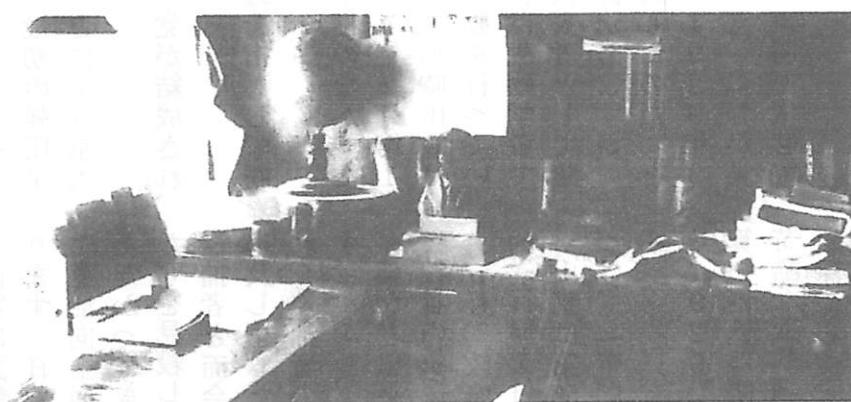
1921（T10）年に誕生した長女の治子は両手の指骨欠損と左足に先天性の障害がありました。産児制限運動を提唱する山宣の性科学理論（優生学）の根幹をゆるがすものでした。治子の障害は自分の病気にあるのではないかと山宣は悩み苦します。やがて「この世の中には、もつと不幸な人たちがいる。その人体のために何かしなければ」思い、優生学を克服しいきます。幼少のころから学んできたキリスト教的な人道主義と、カナダ時代に体験した汗と脂にまみれた労働や自由で民主的な教育の中で培った社会的弱者への深い思いやりがありました。

1922（T11）年 サンガーレイ

次女美代誕生

アメリカで産児制限運動を勧めていたサンガーレイ女史が来日。安い労働力とに必要な兵員を確保するため、国民に「産めよ、増やせよ」と子づくりを奨励していた日本政府の政策と対立するため演説は禁止されますが、医学の専門家を対象にした講演会で山宣は通訳を努めます。サンガーレイ女史と意見が一致した山宣は、彼女の『家族制限法』というパンフレットを翻訳します。そのまま出版すると発行禁止になると考え、あえて『山峨（サンガーレイ）女史家族制限法批判』として発行しました。

産児制限運動は、優生学（優秀な遺伝子を残



山宣の書斎・「戦争撲滅ノ為奮闘セヨ!!」、「人生は短く科学は長し」と書かれていた。

すことを目的とした学問）と深い関係を持つていました。優生学はインディアン迫害、断種法制定、ユダヤ人迫害、ソ連における少数民族圧迫政策、排日移民法、そして日本でも中国人や朝鮮人への差別などの根柢となっていました。

5 戦争撲滅ノ為奮闘セヨ！

1922（T11）年ドイツのニコライの『戦争の生物学』を翻訳し、『戦争進化の生物学批判』（上）と

して出版します。本の序文を来日して

アインシュタインにお願いします。その際にアインシュタインと平和運動について意見交換をします。「平和運動の将来の担い手として知識階級に期待する」と言ったアインシュタインに対し、山宣は「労働者階級の運動に期待する」と言いました。口先だけ雄弁でも、いざ運動になると第一線で戦わない、当時の知識人にに対する鋭い批判が込められていました。

その後下巻翻訳の決意を込めて山宣の書斎に「戦争撲滅ノ為奮闘セヨ!!」のスローガンが掲げられました。日本は日清・日露戦争、第一次世界大戦から太平洋戦争へと向かっていきます。

6 労働者・農民・の啓蒙・教育活動を経て国会議員に

1924（T13）に入ると山宣の活動は関西での労働学校講師、学生社会科学研究会講師、農民組合での講座などへと広がつ

ていきます。鳥取での産児調節啓蒙講演会で弁士中止を受けた事件で山宣は京都大学講師を辞めさせられます。

1926 (S1) 年前年成立した治安維持法の最初の弾圧事

件京都学連事件で山宣は家宅捜査を受け、そのことにより京大

講師も辞めさせられます。

5月には労働者、農民のための政党である労農党が結成され、山宣は教育出版部長に選出されます。

前年暮から京都南部で起きていた城南小作争議を指導し、勝利へと導きます。

こうした活動で労働者、農民たち、中でも選挙権のなかつた女性たちの指示にも後押しされ、1928 (S3) 年2月第1回普通選挙に京都2区から立候補、当選します。この時山宣は労農党員ではありましたが、非合法とされ地下活動を行つていた日本共産黨の党員ではありませんでした。「僕は生物学者であつて、政治の専門家ではない。何万の大衆の代表者として議会闘争を果敢に成し遂げる適任者ではない」と辞退しますが、「日本共産党があなたを必要であると考へて推薦したのだ」と伝えられ、病身をおして立候補したのでした。(1929年3月20日の『赤旗(せつき)』は、山宣の活動を称え、「わが党員としての資格を以つて葬る」との中央委員会の声明を載せています)

7 命をかけて治安維持法に反対

選挙一ヵ月後の3月15日、政府は日本中の警察を動員し、公然で活動していた日本共産党員と党的支持者、労農党員、日本労働組合評議会の活動家など約1600人を治安維持法で一斉検挙します。国会議員となつていた山宣までは逮捕できませんでした。

2024年2月15日 岩手版363号

1928 (S3) 年4月7日に結成された解放運動犠牲者救

援会の創立に参加し

た山宣は評議員とな

ります。日本の平和

や生活向上のために

たたかつてきた同志

唯生唯戦

山本五郎
（筆者）

Wada boro, Shonan Long

(筆者)

たちを見殺しにはできないと、全国の警察署や拘置所をまわり、逮捕者と面会して警察の不当な取り調べの状況を調査し国会で追及しました。また、逮捕者に書籍や衣類、お金などを差し入れ、逮捕者の家族を激励し、援助する活動も積極的にすすめます。しかし、水長(水谷長三郎)は「僕は共産党が大きらいだ、弁護など出来ない」とい、弁護士であるにもかかわらず弾圧犠牲者の救援活動を行いませんでした。

5月、政府は緊急勅令による治安維持法の最高刑・死刑、目的遂行罪を付与する改悪を行います。

山宣は第56回帝国議会を戦争(28年12月)を戦争議会と名づけ、「帝国主義戦争反対」を妥協なくたたかう決意を固めます。

1929 (S4) 年2月8日、山宣は予算委員会で「警察予算の用途に関連した発言」を行い、治安維持法犠牲者に対する苛酷な取り調べや拷問の事実を厳しく追及します。

裸にして床を四つ這いにして「モウ」と言わせたり床を舐める、竹刀で悶絶するまで殴りつけられ、目を覚ますと線香が立てられて、指の間に鉛筆を挟んだり三角型の柱の上に座らせ膝の上に石を置く、さかさまに天井から吊り下げる…女性被告の15歳になる娘を目の前で言語に絶する辱めを行つたことも暴きました。

山宣はこの委員会質問を記事にして『無産者新聞』に載せますが、発売前に警察によつて没収され、国民は目にすることが

できませんでした。一方警察の厳しい監視下にある一般新聞は一切報道しませんでした。

3月5日、本会議を前にして、山宣は水長ら無産政党的議員たちから「どうせ（治安維持法の緊急勅令事後承諾案）に反対したつて100パーセント通過する。俺たちに任せておけ。とにかく発言させるわけにはいかない」と発言の機会を奪われます。

本会議では水長ら一人の反対意見、警告付き賛成、賛成意見の後討論打ち切りの動議が可決され、賛成249、反対170で可決されます。

山宣ただ一人反対といわれるのは、山宣は治安維持法の改悪に反対するだけではなく、「国体の護持と私有財産制は、資本家や地主の利益を擁護するものであり、それに反対し、労働者、農民らの利益のためにたたかっている前衛（日本共産党）の活動を

警察や検察権力をつかつて圧殺しようとする治安維持法は悪法である」と治安維持法の本質と「資本家階級の必要に応じて、天皇の名において緊急勅令が乱発され、彼らの思い通りの政治が行われる」という議会政治の欺瞞性を徹底的に暴露するものであったからです。

3月5日夜、「芝浦の労働者で、差し迫つたストライキのことで相談したい」と偽つて面会を求めてきた右翼団体・七生義団の黒田保久二に刺殺されます。



歴史に学び同盟活動を広げる年に

国賠同盟北上支部長 柏葉明

昨年11月に開かれた青森県浅虫温泉で開かれた国賠同盟第31回東北ブロック交流集会に参加させていただきました。北上市で取り組んだ自衛隊員募集に関して個人情報を紙媒体による提供の中止を求める活動を紹介しました。民主団体と協力して「考える会」を立ち上げて市にも陳情し、日本共産党の議員に議会でも取り上げていただいたことなども報告しました。

国賠同盟の活動交流集会は、私自身前回の山形県での参加に続いて2回目でしたが、発言は初めてのことでした。各地の粘り強い継続した活動の報告は、とても刺激的で圧巻でした。私たちの支部でもどんな活動ができるのか、示唆をいただくような集会でした。

国賠の活動の今後について地元でできる活動にはどんなことがあるのか、考えてみたいと思うようになりました。

一つは、しばらく前から持っていた「わが地方の日本共産党史」という冊子を思い出して、引っ張り出してみました。これは「前衛」1984年7月号～95年10月号連載の企画を地域別6冊に再録した北海道・東北編というものです。

「一、岩手県における戦前の進歩と革命の伝統」では明治期の県民のたたかいが書かれています。（P242）

「二、県党组织の創立から第八回党大会まで」では戦後県党组织の活動は、1945年12月1日の第四回党大会に参加した福地正治（無産運動家）一閑に「岩手県地方委員会」の事務所を

設け入党を呼びかけていた。前後して党結成に動いていた人たちが盛岡について、黒沢尻（北上）では三羽嘉彦、八重樫徳広などが紹介されています。

八重樫徳広氏は、私が入党して6年後に市議会議員に立候補を要請されて活動していたころの同志でした。思い起こしてみると八重樫徳広同志は岩手日報紙に載つた入党の呼びかけを見て、一関市に入党を申し込みに行つたと言つていました。

国賠同盟の活動は私たちの地域で日本共産党が組織化され、どのような歴史をたどってきて今日があるのかを知ることが大切ではないでしょうか。それは今後、治安維持法のような希代の悪法を繰り返させないためにも、民主的活動を広げ伝えていくためにも必要ではないかと思うようになりました。

これからも文献を掘り起こし、学びながら、国賠同盟の活動を粘り強く伝え広げていきたいと思います。

『岩手日報』 論壇 12月21日付

自衛隊への名簿提供は問題

北上市の自衛隊への個人情報提供問題を考える会 代表

菊地 靖

自衛隊の名簿提供について北上支部の菊地靖事務局長が『岩手日報』論壇に投稿し掲載されました。

昨年12月議会では盛岡市庄子春治議員、滝沢市仲田孝行議員が質問を行いました。

まずお住いの自治体の名簿提供の実態を把握し、広く市民に知らせ名簿提供をやめさせる運動を起こしていきましょう。

* * *

奈良市在住の18歳の高校生が原告となり「自分の個人情報を承諾なしに自衛隊に流出させられた」として奈良市長を訴えて裁判を行う。奈良市は今年から18歳と22歳の個人情報（氏名・生年月日・性別）を紙媒体で提供した。本人の同意なしに外部への名簿提供は個人情報保護法に違反するとして当事者が自治体相手に裁判の起訴のは全国初であり、この裁判を支援する会がつくれられ11人の弁護団が結成されている。（註1）

北上市は2016年から毎年18歳の個人情報を自衛隊に提出しており、その数は8年間で7448人に上る。実際に18歳から25歳までの全員が提出されたことになる。このことは本人にも市民にもほとんど知らされていない。21年に『北上市の自衛隊への個人情報問題を考える会』を立ち上げ、市に名簿提供を止めよう要請するとともに議会質問で取り上げていただいてきた。しかし、市は自衛隊法97条、自衛隊法施行令120条を根拠として名簿提供を継続している。

自衛隊法97条、同法施行令120条では「名簿提出」の記述は一切なく、これを根拠にすることには多くの法律家が疑義を持つている。また、住民基本台帳法では「一部を閲覧請求できる」（11条1項）としており閲覧以外は認めていない。自衛隊が名簿提供を要請しても「あくまでも依頼」であり「義務ではない」というのが国会での政府答弁。こうした点から多くの自治体は住民基本台帳の閲覧、書き写しのみ応じてきた。

風向きが変わったのは安倍首相（当時）の憲法9条に自衛隊を明記する、「自治体の6割以上が協力を拒否している」という発言である。そして21年には総務省、防衛省が自治体に「自衛隊への名簿提供は住民基本台帳との関係で問題ない」との達

を出した。その結果、今日では全国の6割を超える自治体が紙媒体または電子媒体で名簿を提供するに至っている。本件では33自治体中28自治体が名簿提供しており割合は群を抜いている。

(註2)

自衛隊法や同法施行令を拡大解釈して自治体に要請し、本人の合意なしに個人情報を提供するのは憲法に保障されたプライバシー権の侵害であり、住民基本台帳法や各自治体がもつ個人情報保護条例もないがしろにするものである。奈良市の高校生の勇気ある提訴を支援する、また、支援が全国に広がることを期待している。

* * *

* 註1 訴状の骨子①法治主義違反 ②プライバシー権侵害

(憲法13条) ③憲法9条違反 ④思想良心の自由の侵害

⑤慰謝料請求 国賠同盟北上支部では裁判の支援を決定、支援募金を送りました。

* 註2 紙媒体、電子媒体、更には宛名シールまで提供している自治体もあります。2022年時点では、岩手県で名簿提供をしていなかつたのは、釜石市、矢巾町、金ヶ崎町、大槌町、田野畑村、花巻市は昨年度から提供しています。花巻市と北上市はHPに名簿提供を掲載しています。

北上市では昨年から本人による除外申請を行っていますが、申請者は一桁台に留まりました。名簿提供をするとしても除外申請ではなく、本人の承諾を得てからの申請にすべきです。

能登半島地震 鶴彬の会にカンパを

石川県の鶴彬を顕彰する会、事務局の浄専寺・平野喜之さんと長年交流を深めてきた浦川陽子さんに届いたメールです。

私は何回か、七尾に物資を運びました。

七尾には支援活動をしている友人のお寺と、能登教務所がありますので、蛸島保育所にも物資（下着を中心）を18万円分、届けました。届けましたと言つても、大雪のなかでしたので、能登の地理に明るい友人僧侶にお願いして、届けてもらいました。自衛隊の用意したフロがあつても、下着の着替えがまったく無い状態だったので、不衛生でしたので。

蛸島保育所に避難していた友人がいたので、責任者の電話番号とラインのアドレスを聞き、何が必要かを教えてもらって、イオング、しまむらなどで着るものと掃除用具、洗剤などを買い集めました。

茨城県古河市の友人で東日本大震災の支援活動をつづけ、現在は「NPO法人ボランティアネット」という団体を立ち上げた梁河文昌さんが、富山と石川の僧侶たちを集めて、今週の月曜日、火曜日、水曜日と珠洲や輪島で炊き出しをしてくれました。（私はその3日間は北海道にカルト問題の研修会の講師として言つていましたので、一緒に炊き出しはできませんでした。）

蛸島保育所に届けた18万円分の物資代もその団体から出してもらいました。2月も2回、彼が中心になつて炊き出しをしますので、今度な一緒に行きたいと思つています。

蛸島保育所の支援は少なくとも1年はつづけなければならぬということでした。なので梁河さんとクラウドファンディングで資金を集められないか、いま相談中です。

今月も2回、茨城から炊き出しに来てくれます。（2月1日）

地震があつた1月1日は皆さん避難所で不安な夜を過ごされましたそうです。東日本大震災でも経験したことですが、想像を絶する困難が被災者の皆様を襲っています。少しでもお役に立てるようにカンパを集めて送りたいと思います。岩手県本部までお届けください。

020-0105 盛岡市北松園4-21-7 田中館安子
郵便払込 02300-0-13882
治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟岩手県本部



鶴彬のお墓と句碑は盛岡市の光照寺にあります。鶴彬は1909年石川県かほく市（急河 北郡高松村）に生まれました。

生家跡に「可憐なる母は私を生みました」淨專寺に「胎内の動き知る二重骨（二つ）がつき」高松歴史公園に「枯れ芝よ団結をして春を待つ」の句碑、「たかまつまちかど交流館」鶴彬資料室があります。

毎年鶴彬の命日である9月14日には、「鶴彬をたたえる集いを開いています。

この人にこの歌あり

⑨織田秀雄と共人会事件

忠君愛国甲の上／親に孝行甲の上／

まじめに働け甲の上／主人に仕える甲の上



織田秀雄

と笑ひ出せ／僕がつくつた／木の人形／黙つていたとて何になる／すけた棚で／踊り出せ／すすけた顔でさけび出せ／（中略）百姓人形／歩き出せ／百姓人形／暴れ出せ』。

織田は1926年に水沢農学校を卒業し、姉体小や真城小の代用教員となつた。詩や童謡を盛んに執筆し、民話や民謡の収集につとめ、「大工と鬼六」は教科書に採用された。織田の綴り方教育は評判で、後年の生活綴り方教育活動の先駆けとなつた。

「教育勅語」に基づく軍國主義教育が強められる時代に、織田は次の詩「通信簿」を書いた。「忠君愛国甲の上／親に孝行甲の上／まじめに働け甲の上／主人に仕える甲の上／先生の言ふことすぐ書けば／うそでも何でも甲の上／おいらをだます通信簿／そんなものには用はない」（プロレタリア詩集に収録）。

また全国農民芸術連盟の支部の結成総会を学校で開いたことから退職せざるをえなくなり、1930年上京してマルクス書房に就職した。（テキスト32P解説編、88P）。

8月、兵役検査のための盛岡点呼で帰省した際、歓迎会が行われ、胆江の文学青年たちとプロレタリア文学団体の岩手共人会を結成した。11月、全県一斉の治安維持法による弾圧があり、130人（東京含む）が検挙された。岩手共人会は文学団体なのに「岩手共産党」の結成だと弾圧された。

この事件は「岩手共人会事件」と呼ばれ、検挙者全員が主犯の織田秀雄や共人会に関係しているように誤解されている。起訴されたのは織田（実刑2年）と解放運動犠牲者救援会の大橋初郎、桜庭丈夫、小原忠藏の3人（起訴猶予）であるように、事件は治安維持法弾圧事件であり、検挙者は共人会、救援会、その他全県の『戦旗』読者や社会科学研究会の会員などの3つに大別されるものである。

同じように1931年、32年、33年の治安維持法弾圧事件もそれぞれ医大赤化事件、教員赤化事件、消費組合事件と呼ばれているが、その手の一斉検挙で根こそぎ弾圧したもので、弾圧がピークだった4年間だけで岩手の検挙者数は300人を超えていた。

岩手には、北上川の上流に石川啄木、中流に宮沢賢治、下流に織田秀雄がいる。3人はすぐれた詩人、作家であり、教育者である。
「土の唄である」（宍戸春雄織田頸彰会代表者）。
詩「百姓人形」を見てみよう。「百姓人形笑ひ出せ／アハハアハハ